

事 故 処 理 基 準

令和 7 年 4 月 1 日

株式会社しまなみ

目 次

第 1 章 総則

第 2 章 事故等発生時の通報

第 3 章 事故の処理等

第1章 総 則

(目的)

第1条 この基準は、安全管理規程に基づき、当社の運航中の船舶に係る事故等の処理に関し、安全管理規程の運用上の基準を明確にすることにより、事故等処理を迅速かつ適切に実施し、人命の安全の確保と損害の局限を図るとともに、事故等の原因等を究明し、将来の船舶の運航の安全に資することを目的とする。

(事故等の範囲)

第2条 この基準において、「事故」とは当社の運航中の船舶に係る(1)～(4)に掲げる事象をいい、「事故等」とは事故及び第2項の事態（以下「インシデント」という。）をいう。

- (1) 旅客、乗組員又はその他の乗船者の死亡、行方不明、負傷若しくは疾病又はその他の人身事故（以下「人身事故」という。）
- (2) 衝突、乗揚げ、火災、浸水、漂流、行方不明、機関停止等重大な機関故障又はその他の救助を必要とする船舶の海難事故
- (3) 航路の障害、港湾施設の損傷又は荒天等による運航の阻害
- (4) 強取（乗っ取り）、殺人、傷害又は暴行・脅迫等の不法行為による運航の阻害

2 この基準において、「インシデント」とは、旅客の輸送に従事する船舶における前項の事象に至るおそれのある次に掲げる事態をいう。

- (1) 機関不良又は船舶へ装備された機器・装置等の故障により通常の運航が阻害された事態
- (2) 機関不良又は船舶へ装備された機器・装置等からの油漏れ
- (3) 避難港へ入港するに至った事態
- (4) 航行中において、岸壁又は他の船舶等との衝突を回避するため、乗組員が緊急の操作を行った事態
- (5) 離着岸作業中の係船策の破断
- (6) その他の前項の事象に至るおそれがあると認められる事態
- (7) 前号に掲げるもののほか、所轄地方運輸局が特に必要と認めて報告を指示したもの

(軽微な事故への準用)

第3条 本事故処理基準は、必要に応じ、前条に定める事故以外の当社の運航中の船舶に係る事故に準用するものとする。

第2章 事故等発生時の通報

(非常連絡)

第4条 船長は、事故の状況を運航管理者に報告する場合は速報を旨とし、判明したものか

ら逐次追報することにより次条の項目を網羅するよう心がけなければならない。

2 船長の海上保安官署等への連絡は、初動時は「118 番」による。

以後、別紙「官公署連絡表」により最寄りの海上保安官署等に行うものとする。

3 運航管理者は事故が発生したときは、速やかに、事故の状況について判明したものから逐次電話又は口頭で運輸局等に報告するものとする。インシデントが発生したときは、被害発生にまで及ばないことを見極めた上、後日資料化するものとするが、同種事案が再発する可能性が高い場合は、遅滞なく、その状況を運輸局等に報告するものとする。非常連絡事項を記載した報告様式を船舶及び事務所に備え置くものとする。

4 非常連絡は、原則として、別紙によるものとする。ただし、事故の内容によっては、運航管理者の判断で、運輸局等及び海上保安部等を除き連絡すべき範囲を限定することができる。

（非常連絡事項）

第5条 事故等が発生した場合の連絡は、原則として次の区分により行うものとする。

(1) 全事故等に共通する事項

- ① 船名
- ② 日時
- ③ 場所
- ④ 事故等の種類
- ⑤ 死傷者の有無
- ⑥ 救助の要否
- ⑦ 当時の気象・海象

(2) 事故等の態様による事項

	事故等の種類	連絡事項
a	衝突	① 衝突の状況（衝突時の両船の針路、速力等又は岸壁等への接近状況） ② 船体、機器、車両の損傷状況 ③ 浸水の有無（あるときはd項） ④ 流出油の有無（あるときはその程度及び防除措置） ⑤ 自力航行の可否 ⑥ 相手船の船種、船名、総トン数、（用）船主・船長名（できれば住所、連絡先） — 船舶衝突の場合 ⑦ 相手船の状況（船体損傷の状況、死傷者の有無、救助の要否等）

b	乗揚げ	① 乗揚げの状況（乗揚げ時の針路、速力、海底との接触個所、船体傾斜、吃水の変化、陸岸との関係等） ② 船体周囲の水深、底質及び付近の状況 ③ 潮汐の状況、船体に及ぼす風潮及び波浪の影響 ④ 船体、機器、車両の損傷状況 ⑤ 浸水の有無（あるときはd項） ⑥ 離礁の見通し及び陸上からの救助の可否 ⑦ 流出油の有無（あるときはその程度及び防除措置）
c	火災	① 出火場所及び火災の状況 ② 出火原因 ③ 船体、機器、車両の損傷状況 ④ 消火作業の状況 ⑤ 消火の見通し
d	浸水	① 浸水個所及び浸水の原因 ② 浸水量及びその増減の程度 ③ 船体、機器、車両の損傷状況 ④ 浸水防止作業の状況 ⑤ 船体に及ぼす風浪の影響 ⑥ 浸水防止の見通し ⑦ 流出油の有無（あるときはその程度及び防除措置）
e	強取、殺人傷害、暴行等の不法行為	① 事件の種類 ② 事件発生の端緒及び経緯 ③ 被害者の氏名、被害状況等 ④ 被疑者の人数、氏名等 ⑤ 被疑者が凶器を所持している場合は、その種類、数量等 ⑥ 措置状況
f	人身事故（行方不明を除く）	① 事故の発生状況 ② 死傷者数又は疾病者数 ③ 発生原因 ④ 負傷又は疾病の程度 ⑤ 応急手当の状況

g	旅客、乗組員等の行方不明	① 行方不明が判明した日時及び場所 ② 行方不明の日時、場所及び理由（推定） ③ 行方不明者の氏名等 ④ 行方不明者の遺留品等
h	その他の事故	① 事故の状況 ② 事故の原因 ③ 措置状況
i	インシデント	① インシデントの状況 ② インシデントの原因 ③ 措置状況

第3章 事故の処理等

（船長のとるべき措置）

第6条 事故が発生したときに、旅客の安全、船体、車両の保全のために船長が講ずべき必要な措置はおおむね次のとおりである。

（1）海難事故の場合

- ① 損傷状況の把握及び事故局限の可否の検討
- ② 人身事故に対する早急な救護
- ③ 連絡方法の確立（船内及び船外）
- ④ 旅客への正確な情報の周知及び状況に即した適切な旅客の誘導
- ⑤ 二次災害及び被害拡大を防止するための適切な作業の実施

（2）不法事件の場合

- ① 被害者に対する早急な救護
- ② 不法行為者の隔離又は監視
- ③ 連絡方法の確立（船内及び船外）
- ④ 旅客に対する現状及び措置状況の周知と旅客の軽率な行為の禁止
- ⑤ 不法行為が継続している場合、中止を求める不法行為者への説得

（運航管理者のとるべき措置）

第7条 運航管理者は、通常連絡、入港連絡等の船長からの連絡が異常に遅延している場合又は連絡なしに入港が異常に遅延している場合は、遅滞なく船舶の動静把握のために必要な措置を講じなければならない。

- 2 運航管理者は、前項の措置を講じたにもかかわらず船舶の動静を把握できないときは、直ちに関係海上保安官署等に連絡するとともに第4条（非常連絡）に従って関係者に通報しなければならない。

3 事故の発生を知ったとき又は船舶の動静が把握できないときに運航管理者がとるべき必要な措置はおおむね次のとおりである。

- (1) 事故の実態把握及び救難に必要な情報の収集及び分析
- (2) 海上保安官署への救助要請
- (3) 行方不明者の捜索又は本船の救助のための捜索船又は救助船等の手配
- (4) 必要人員の派遣及び必要物資の補給等
- (5) 船長に対する必要事項の連絡及び助言
- (6) 医師、病院、宿舎の手配等の旅客の救護のための措置
- (7) 乗船客の氏名の確認及びその連絡先への通知

(事故処理組織)

第8条 事故処理の組織、編成及び職務は次表のとおりとする。

事故処理組織表

	職 務
経営の責任者 兼安全統括管理者	総指揮
運航管理者	総指揮補佐又は総指揮
救難対策班	事故の実態の把握、事故関係情報の収集、船舶及び関係機関との連絡、救難の実施、その他救難に必要な事項に関すること。
旅客対策班	旅客及び被災者の把握、被災者の救護、欠航便の旅客処理その他旅客（車両）対策に関すること。
庶務対策班	被災者の近親者への連絡及び世話、報道関係者の応待（発表を除く。）、救援関係物資の調達・補給、その他庶務に関すること。

(医療救護の連絡等)

第9条 船長及び運航管理者は、船内に医療救護を必要とする事態が発生したときは、乗船者に医師がいる場合はその医師の協力を要請することとし、不在の場合は別表「医療機関連絡表」により最寄りの医師と連絡をとり、その指示のもとに適切な措置を講じなければならない。

(現場の保存)

第10条 船長及び運航管理者は、事故の処理後関係海上保安官署等と連絡をとりつつ、運航に支障のない限り事故の原因の調査を行うとともに、事件の捜査の対象となる場所及び物品の保存に努めなければならない。

附則

平成24年	7月30日	設定
平成25年	2月18日	変更
平成26年	6月25日	変更
平成27年	8月27日	変更
平成28年	1月4日	変更
平成28年	1月18日	変更
平成28年	2月1日	変更
平成29年	7月11日	変更
平成30年	7月12日	変更
平成31年	4月24日	変更
令和2年	1月1日	変更
令和3年	3月1日	変更
令和7年	4月1日	変更

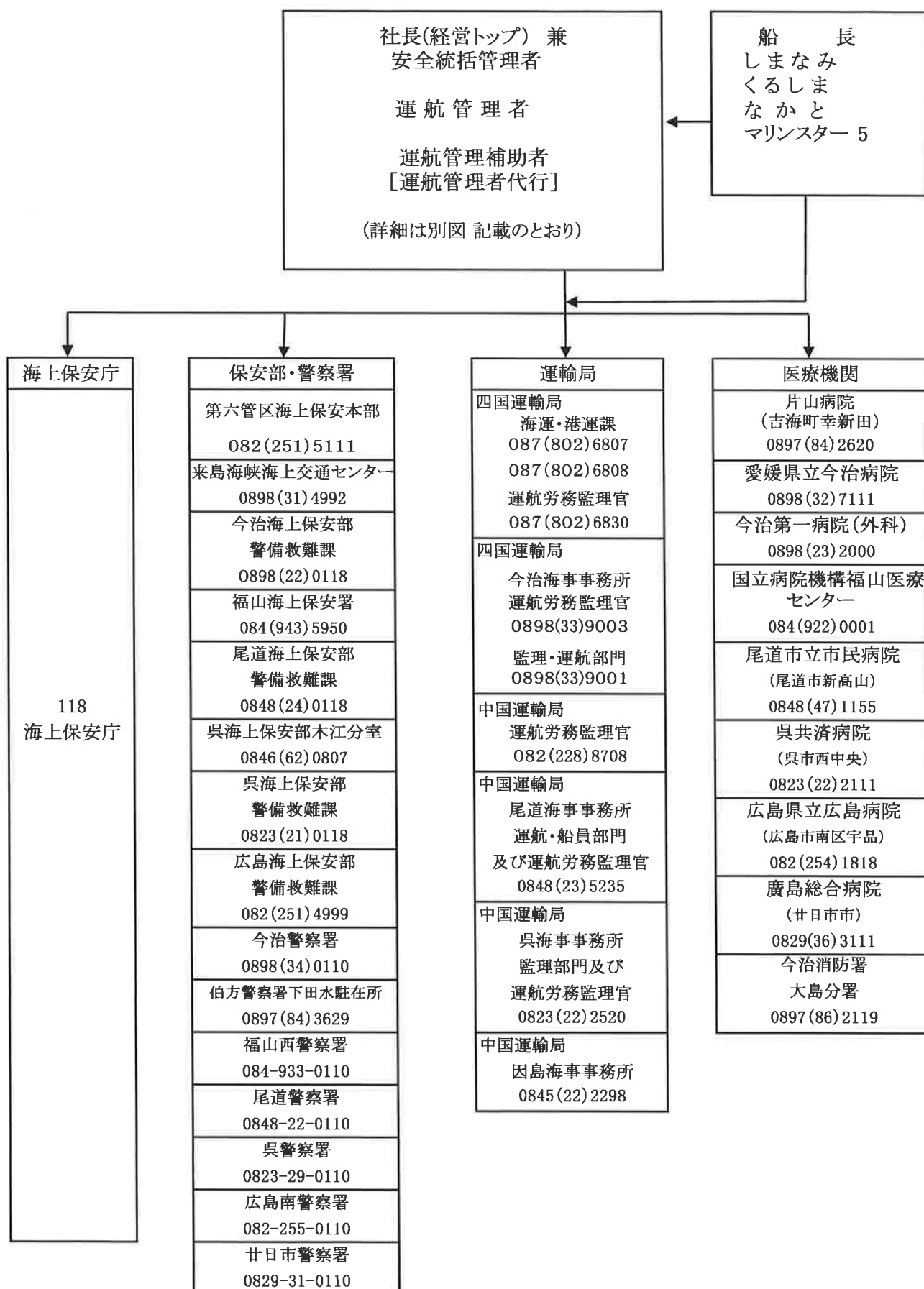
新
官公署連絡表

官公署名	住 所	電話番号
海上保安庁		118
来島海峡 海上交通センター	今治市湊町2-5-100	0898 (31) 4992
第六管区 海上保安本部	広島市南区宇品海岸3-10-17	082(251)5111
今治海上保安部 警備救難課	今治市片原町1-3-2 今治港湾合同庁舎	0898(22)0118
尾道海上保安部 福山海上保安署	福山市東手城町2-18-3	084(943)5950
尾道海上保安部 警備救難課	尾道市古浜町27-13	0848(24)0118
呉 海上保安部 木江分室	広島県豊田郡大崎上島町木江5067-9	0846 (62) 0807
呉 海上保安部 警備救難課	呉市宝町9-25	0823 (26) 0118
広島海上保安部 警備救難課	広島市南区宇品海岸3-10-17 広島港湾合同庁舎5F	082 (251) 4999
四 国 運 輸 局	高松市サンポート高松3番33号 サンポート合同庁舎南館 海運・港運課 運航労務監理官	087 (802) 6807・6808
		087 (802) 6830
四国運輸局愛媛運輸支局 今治海事事務所	今治市片原町1-3-2 今治港湾合同庁舎2F 運航労務監理官	0898 (33) 9003
中 国 運 輸 局	広島市中区上八丁堀6-30広島合同庁舎4号館 運航労務監理官	082 (228) 8708
中国運輸局広島運輸支局 尾道海事事務所	尾道市古浜町27-13 尾道地方合同庁舎 運航船員部門及び運航労務監理官	0848 (23) 5235
中国運輸局広島運輸支局 呉海事事務所	呉市宝町9-25 呉港湾合同庁舎 監理部門及び運航労務監理官	0823 (22) 2520
中国運輸局広島運輸支局 因島海事事務所	尾道市因島土生町1899-35	0845(22)2298
今治警察署	今治市旭町1丁目4-2	0898(34)0110
伯方警察署下田水駐在所	今治市吉海町名4694-3	0897(84)3629
福山西警察署	福山市神林町3101-1	084(933)0110
尾道警察署	尾道市新浜1丁目7-34	0848(22)0111
呉 警察署	呉市西中央2丁目2-4	0823(29)0110
広島南警察署	広島市南区宇品東4丁目1-3	082(255)0110
廿日市警察署	廿日市市本町1-10	0829(31)0110

医療機関連絡表

医療機関名	住 所	電話番号
片山医院	今治市吉海町幸新田71	0897(84)2620
愛媛県立今治病院	今治市石井町4丁目5番5号	0898(32)7111
今治第一病院 (外科)	今治市宮下町1丁目1番21号	0898(23)2000
国立病院機構 福山医療センター	福山市沖野上町4丁目14-17	084(922)0111
尾道市立 市民病院	尾道市新高山三丁目1170-177	0848(47)1155
国家公務員共済組 合連合会 呉共済病院	呉市西中央2丁目3-28	0823(22)2111
県立広島病院	広島市南区宇品神田一丁目5-54	082(254)1818
広島総合病院	廿日市市地御前1-3-3	0829(36)3111
今治消防署 大島分署	今治市宮窪町宮窪4764-5	0897(86)2119

新 非常連絡表



	職 名	氏 名	電 話 番 号
株式会社しまなみ 今治本社	社 長 兼 安全統括管理者	村 上 秀 人	TEL 0898-25-7338 FAX 0898-22-6858 携帯 080-2977-3007
	運 航 管 理 者	酒 井 典 久	携帯 090-6886-4070
	運航管理補助者 [運航管理者代行:順位1]	秋 山 耕 治	携帯 090-7140-9610
	運航管理補助者 [運航管理者代行:順位2] 運航管理補助者	村 上 雄 大 矢 野 直 樹	携帯 080-2853-7460 携帯 090-2783-3916
下田水港 営業所	運航管理補助者 運航管理補助者 運航管理補助者 運航管理補助者 運航管理補助者 運航管理補助者	丸 山 清 隆 小 田 治 紀 中 村 年 一 矢 野 嘉 久 眞 鍋 翔 渡 邊 優	TEL 0897(84)3710 携帯 090-5299-5254 携帯 090-5275-2000 携帯 080-3929-7867 携帯 090-7149-7861 携帯 080-6387-5603 携帯 090-2829-2226
くるしま なかと マリンスター5 しまなみ	船 長 船 長 船 長 船 長		携帯 090-5710-4753 携帯 080-4784-2044 携帯 090-1879-3973 携帯 090-8652-4364

事故等報告（第 報）

年 月 日

宛て：四国運輸局愛媛運輸支局今治海事事務所 運航労務監理官

TEL：0898-33-9003

会社名：株式会社しまなみ

FAX：

担当者：

電 話：0898-25-7338

E-mail：

※報告内容については事故処理基準非常連絡事項を参照

事故の種類	衝突・接触（船舶・岸壁・その他） 乗揚 航行不能 火災 機関故障 人身事故（死亡・行方不明・負傷・疾病） 浸水 殺人・暴行等 その他（ ） インシデント（ ）
航路名 または 仕出港及び仕向地	
当該船舶の要目	船名： 用途： 総トン数： GT 船舶番号： 船舶所有者名： 船長名： 船舶電話： 検査証書の搭載定員：旅客 人 船員 人 その他 人 当時の乗客： 人 船員 人 積荷（積載量）：（ ） 車両積載の有無（有の場合： 台）
相手船舶の要目	船名： 用途： 総トン数： 船舶番号： 船舶所有者名：
発 生 日 時	年 月 日 午前・午後 時 分
発 生 場 所	
当時の 気象・海象	天候 風向・風速 視界 M 波高 M
事故概要（事故の経緯・原因、人命の異常の有無と負傷程度、船舶の損傷程度、油流出の有無、その他）	
※今後の船舶の動静	
会社の措置（関係官署への連絡、旅客への対応（旅客船のみ）、保険手続き、再発防止策、安全教育実施の有無等）	

※報告時不明な項目は「調査中」と記載し、分かり次第報告願います。